

# 校長室だより



令和3年7月 2日

No.1 1

65歳以下の人たちへのコロナワクチンの接種券配付が始まり、私のところにも先週届届きました。ワクチンを打てばすべて OK というわけでもありませんが、感染確率が低下することは間違いありませんし、待っていましたという感じです。少しでもこの状況の収束に近づいてくれればと願うばかりです。

6月19日から28日まで授業参観週間でした。多くの保護者の皆さまにご来校いただきありがとうございました。子どもたちや学校の様子はいかがでしたでしょうか。私も一部見せていただきましたが、やっぱり保護者の方々に参観していただいていることで、いつもより張り切って授業に臨んでいる子どもたちが多いように感じました。少し恥ずかしいような、でもやっぱり嬉しかったことと思います。保護者の皆さまにも子どもたちの成長の一端を感じていただけたことと思います。

従来は「土曜参観」ということで、土曜日に全校一斉で実施していましたが、今回はコロナ対策もあって、日にちごとに学年を指定しほぼ一週間にわたって実施いたしました。この形態はいかがだったでしょうか？学年によっては来校しにくい曜日の実施になってしまったこともあったと思います。駐車場の関係や混雑面などから考えると今回の方がよかったかもしれません。今後のコロナの状況にもよりますが、来年度以降の実施形態を考えるにあたって、保護者の皆様からいろいろな面からご意見、ご感想等いただき、参考にさせていただければ幸いと存じます。

参観日と言ういろいろな思い出もありますね。自分が見られる側だった子どものころのこと…自分ではいつも通りに普通に授業を受けていたはずなのに、家に帰ったら「あの態度の悪さは何だ！」と叱られて泣いたこともありました。逆に、自分が親になって子どもの授業参観に行ったところのこと…わが子ながら「もう少しきちんとできないのか」と思いながらハラハラして見守っていたことがありました。（その子ももう自分の子どもの授業参観に行くところとなりました…。）でも、やっぱり、ここは教員としての参観日のあれやこれやの思い出が一番たくさんありますね。

弁別学習（仲間わけ）に取り組んでいたYさん。いつもはなかなか進まないのに参観日の時はあっという間にクリアし、用意した材料がなくなってしまう、お母さんの前で困っている中嶋をしり目に「どんなもんだい」と自慢気なYさんでした。かと思えば、いつもはすんなりできる課題なのに、お母さんの前で恥ずかしそうに下を向いたままのHさん。どうにも展開できず、声かけだけで終わった参観日もありました。保護者の皆さまや子どもたちといっしょにゲーム大会的に行ったこともいい思い出です。

参観日の是非についての意見もいろいろあるようですが、子どもたちの学習や学校生活をご覧いただき、学校と保護者が共有できるということは大切なことと思います。ただし、これからはオンライン授業参観なんていう形も現実味を帯びてくるかもしれませんね。

